ごあいさつ

平素より，私ども兵庫県信用農業協同組合連合会をお引き立ていただきまして，誠にありがとうございます。

当会は，1948年の設立以来，農協連合会として県内ＪＡ信用事業をサポートする立場から，地域農業，関連産業への貸出，有価証券，預け金などの運用により，会員への還元と地域の発展に貢献することを使命としてまいりました。

この度，当会への一層のご理解をいただくため，最近の業績をはじめ経営活動や業務内容をまとめたディスクロージャー誌を作成いたしました。

最近の事業をとりまく情勢として，農業面においては，組合員の高齢化や正組合員の減少が進むなかで，ＪＡグループに対しては，組合員の声を真摯に聴き，丁寧な対話を積み重ね，組合員の負託に応えるべく事業モデルの変革や経営基盤の強化を図ることにより，これまで以上に「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」を実現させる取組みを強化していくことが求められています。

このようななか，ＪＡバンク兵庫は県内農業の活性化を目指し，農業者からの幅広い資金ニーズに対応した各種制度資金や農業関連ローンを取り扱うほか，新規就農者が経営に必要な資金を提供する新規就農応援資金の取扱いを新たに開始するなど，資金面のサポートを充実したほか，担い手農業者への訪問活動により把握した経営課題の解決策の提案に取り組みました。

金融面においては，組合員等利用者ニーズの多様化に対応すべく，画一的な商品構成・提案方法による渉外活動からの転換を図り，お客様目線に立った活動や提案型営業に重点を置いた取組みを強化しました。

このような状況のもと，県内ＪＡの取組みにつきましては，①収益力の向上，②コスト構造の抜本的見直し，③農業・地域への貢献，④経営健全性の確保の4つを柱とする「JAバンク兵庫中期戦略（2022年度～ 2024年度）」を新たにスタートさせました。当中期戦略を確実に実践し，JAバンク兵庫として更なる金融機能を発揮することで，地域・顧客から選ばれる「JAバンク兵庫」を目指してまいります。

当会におきましても，中長期経営計画（2021年度～2025年度）に基づき，ＪＡとの一体的事業運営の強化を図るほか，ＪＡバンク兵庫全体の持続可能性確保に向けた基盤強化，機構改革による効率経営・スリム化の徹底に努めるとともに，会員との連携を更に深めながら県連としての使命を果たし，会員への還元と地域の発展に貢献できるよう積極的な事業の展開に努めてまいる所存でございます。

今後とも一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申しあげます。

2022年7月

兵庫県信用農業協同組合連合会

代表理事
理事長　山森　大資